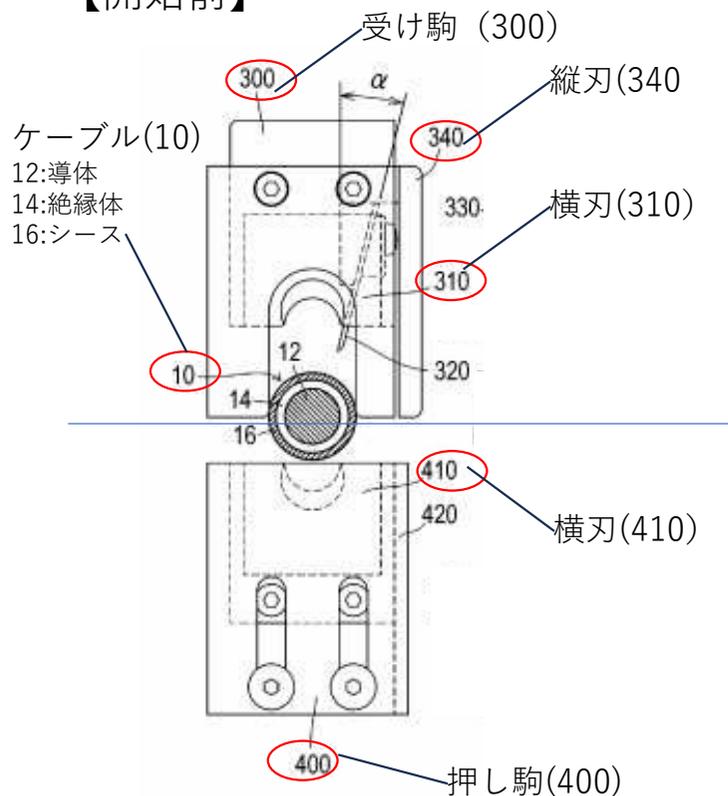


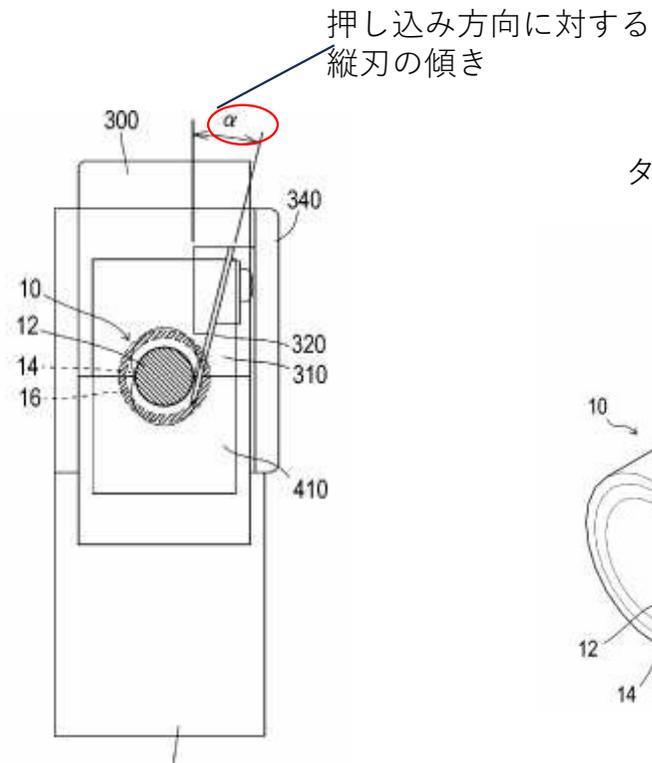
名称	活線作業をもっと安全に。導体に触れないケーブルの被覆剥ぎ取り工具。 (特願2021-113381 ケーブル送出装置及び送出方法)	許諾 条件	通常実施権 譲渡不可
発明の目的	従来のケーブル被覆剥ぎ取り工具の安全性と作業効率の課題を解決するため、充電部を露出させずに被覆に切れ込みを入れ、挟み工具を使わずに被覆を剥ぎ取ることで、安全で効率的な作業を実現すること。		
導入のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ①充電部を露出することなく被覆に切れ込みを入れることができるため安全に作業を実施することができる。 ②ペンチなどの挟み工具を使用することなく被覆をはぎ取ることができるため作業の効率化を図ることができる。 		
アピール内容	このケーブル被覆剥ぎ取り工具は、ケーブルを挟む受け駒と押し駒に、ケーブルの軸方向に直交する半円形の横刃と、ケーブルの軸方向に平行な縦刃を配置。縦刃はケーブルの中心からずらして配置することで、被覆を導体から剥がすことができ、工具を離すと縦切り部分がタブ状に開き、手で簡単に剥ぎ取れる。横刃と縦刃を同時に切り込むことで、被覆の輪切りと縦切りを一度に行うことができる。縦刃は、被覆を剥離させる方向に傾斜しているため、縦切り部分の開きを大きくし、手でつかみやすくする。これらの構成により、安全で効率的なケーブル被覆剥ぎ取りを実現できます。		

◆ケーブル被覆剥ぎの作業方法

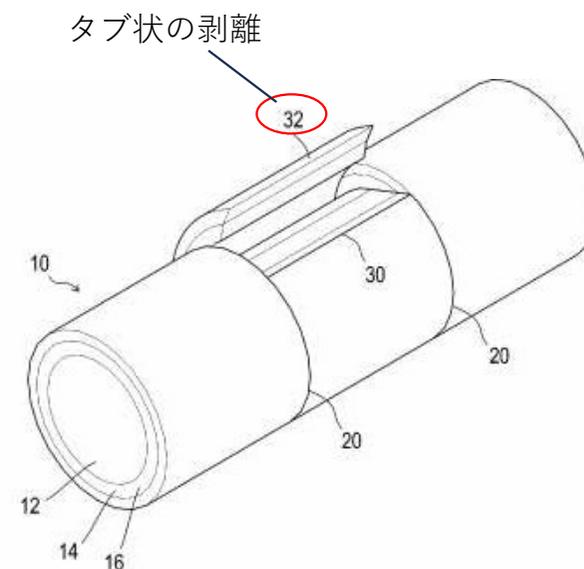
【開始前】



【押し駒を押し込んだ後】

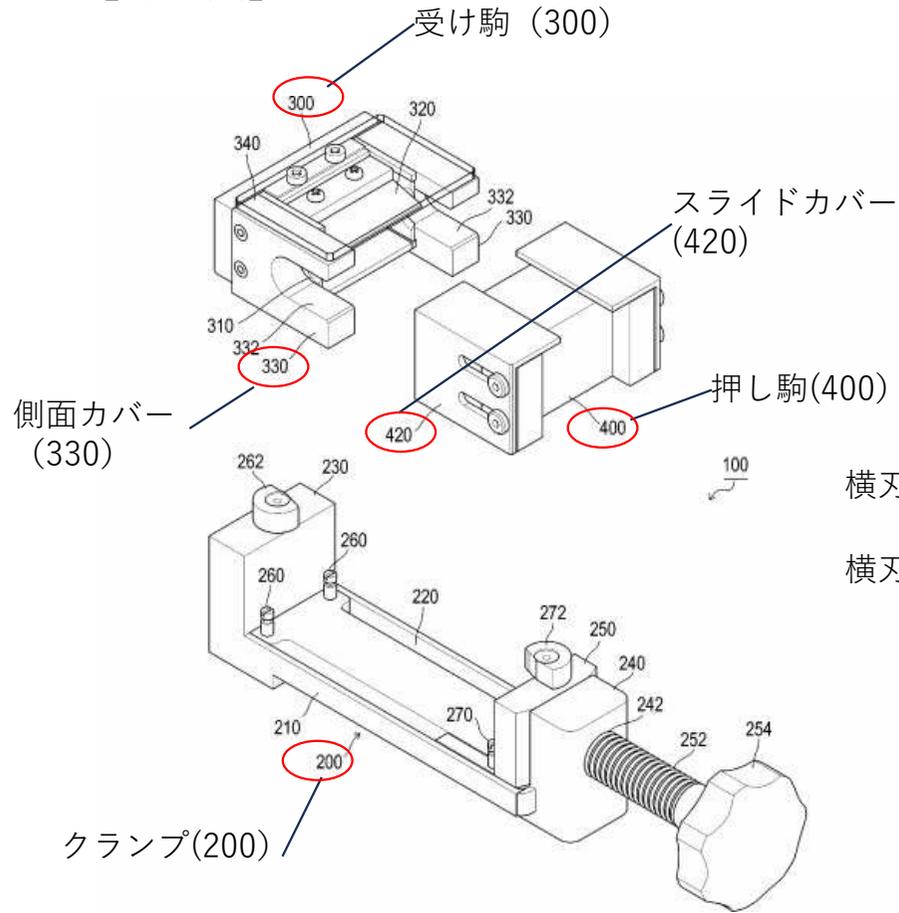


【作業完了後】

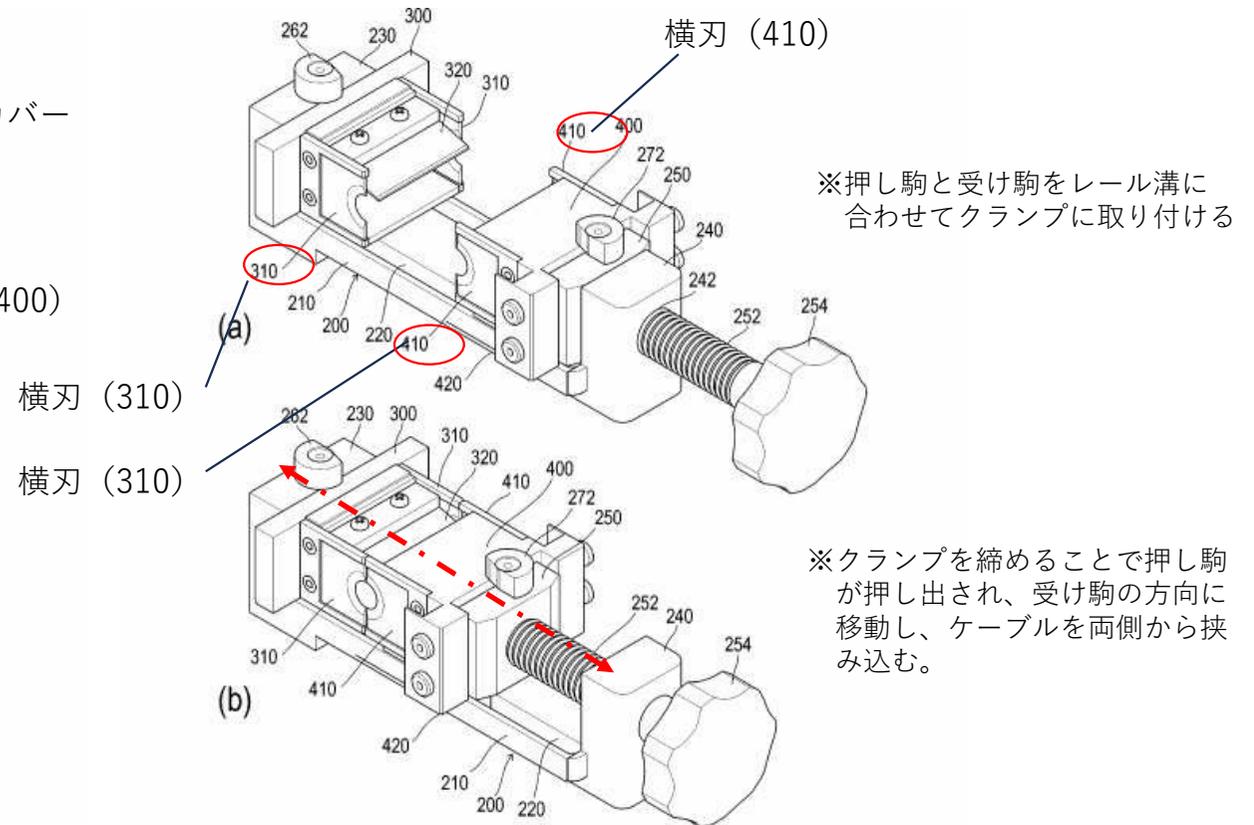


- ・ 縦刃は押し駒の押し込み方向に対して α の傾斜をつけて取り付けます。
- ・ 押し駒を受け駒方向に押し込むことで、受け駒側横刃、押し駒側横刃、縦刃がケーブルに切り込みを入れます。このとき、縦刃の傾きによりケーブル外周部にタブ状の剥離が作られます。
- ・ 作業者はタブ状の剥離部分を工具（ペンチ等）を用いることなく手で被覆を剥がすことができます。
- ・ 尚、縦刃の傾斜はケーブルの導体の際ギリギリの位置を通るように設定することがベストです（ $\alpha = 14^\circ$ ）。

【分解図】



【組立図 (カバー省略)】



10...ケーブル、12...導体、14...絶縁体、16...シース、20...輪切り線、30...縦切り線、32...縦切り部分、100...工具、200...クランプ、210...フレーム、220...レール溝、230...上顎、240...ブロック、242...雌ネジ、250...下顎、252...ボルト、254...ハンドル、256...スライダ、260...ピン、262...ストッパー、270...ピン、272...ストッパー、300...受け駒、310...横刃、320...縦刃、330...側面カバー、332...切欠き、340...保護カバー、400...押し駒、410...横刃、420...スライドカバー、422...スプリング